

ホスピタリティコート hospitalityCourt 03 TAKE FREE

メディカルコート八戸西病院 広報誌



特集 「医療座談会 医療タッグで守る地域の健康」

青森労災病院 副院長 玉澤 直樹氏
青森労災病院 糖尿病内分泌病棟看護師長 澤橋 芳子氏
社長の健康塾「八戸液化ガス株式会社 代表取締役 大黒 裕明」

お知らせ Information



月日		イベント・行事名	内容	時間	場所	申込方法等
11月	7日(土)	世界糖尿病デーキャンペーン 八戸西健診プラザ出張糖尿病教室 「はかってわかる血糖チェック」	医師・栄養士・理学療法士による糖尿病セミナー、血糖・血圧などの測定コーナー、食事診断や健康相談、クイズコーナーなど	10:00 ～16:00	ラピア1F フェスタプラザ	当日自由参加
	12日(木)	オータムロビー コンサート	石堂町内 歌と踊りの会様による コンサート	12:45 ～13:15	交流ホール	当日自由参加
	21日(土)	看護師国家試験 国試対策講座	平成28年3月卒業見込み者対象の講座 対象職種：看護師資格取得見込者	10:00 ～12:00	八戸西病院 会議室	事前に申し込み (担当：事務部 藤川)
	25日(水)	糖尿病教室	食事療法～応用編～（管理栄養士）	13:00 ～14:00	交流ホール	当日自由参加
12月	5日(土)	看護師国家試験 国試対策講座	平成28年3月卒業見込み者対象の講座 対象職種：看護師資格取得見込者	10:00 ～12:00	八戸西病院 会議室	事前に申し込み (担当：事務部 藤川)
	16日(水)	糖尿病教室	さあ始めよう！運動療法（理学療法士）	13:00 ～14:00	交流ホール	当日自由参加
	24日(木)	クリスマスロビー コンサート	WMS（職員有志バンド）による コンサート	12:45 ～13:15	交流ホール	当日自由参加
	30日(水) ～平成28年 1月3日(日)	12月30日～1月3日まで外来診療は休診致します ※急患はこの限りではありません				
1月	27日(水)	糖尿病教室	これで安心！糖尿病生活（看護師）	13:00 ～14:00	交流ホール	当日自由参加
	28日(木)	ニューイヤー コンサート	WMS（職員有志バンド）による コンサート	12:45 ～13:15	交流ホール	当日自由参加

*表紙について：第5回 メディカルコート夏祭り

こども探検隊、医療安全川柳展示、手洗いチェック体験、八戸警察署寸劇、ピンク・ベイベーズのライブなど盛りだくさんのイベントを職員一丸となって開催しました。当日は天候にも恵まれ大成功。終了後笑顔でのピースサイン。この後、バーベキューと花火が待っています。来年も夏祭り、みんなで盛り上げていこうぞ！！

Photo: 佐藤 悠太 Comment: 岩浪 由拓



ホスピタリティコート
hospitalityCourt

2015年10月20日発行 第3号 発行人 田中 由紀子
公益財団法人シルバー・ハビリテーション協会 メディカルコート八戸西病院
〒039-1103 青森県八戸市大字長苗代字中坪77 TEL. 0178-28-4000 FAX. 0178-20-4962 <http://sg-silver.jp/>

SG GROUP

特集 医療タッグで守る地域の健康

食生活の欧米化に伴い生活習慣病は増加の一途をたどっている。特に糖尿病は予備群を含めると2,000万人と見込まれており国民病とも呼ばれるようになった。生活習慣病の予防と治療には医療連携が欠かせない。今回は青森労災病院から玉澤直樹副院長、澤橋芳子糖尿病内分泌病棟看護部長と、メディカルコート八戸西病院から佐藤都留雄医師、母良田郁子看護次長に、生活習慣病の予防と治療に対する医療連携を開いた。

生活習慣病センター設立

佐藤 青森労災病院さんは昨年6月に糖尿病センター1、今年10月には生活習慣病センターを設立されました。この経緯を教えてください。

玉澤 八戸地域には3つの大きな病院があります。八戸市民病院は急性期と周産期、八戸赤十字病院は脳卒中の治療を得意としており、青森労災病院は生活習慣病に力を入れて役割分担しています。糖尿病センターには糖尿病・内分泌の専門医を5名配置しており、関連するさまざまな病気の予防・診断・治療に取り組みため生活習慣病センターを設立しました。生活習慣病は範囲が広く、特に糖尿病、高血圧、脂質異常、慢性腎不全は基盤項目としてがつらやうと考えています。

佐藤 メディカルコート八戸西病院（以下八戸西病院）では、隣接する八戸西健診プラザとより密に連携するよう努力しています。その結果、八戸西病院に外来通院している糖尿病患者の約45%は

検診で見つかった方々で、早期発見・早期治療につながっていると考えています。ただその一方で、相当以前から高血糖が続いていた患者さんも多い。検診の再検査受診率も3割程度と意外と少ないのが残念です。

玉澤 糖尿病は、早くから治療を始めれば合併症の進展を迎えられるというところがはっきり分かってきました。糖尿病の合併症が出てくるのは、高血糖が少なくとも5年以上続いた後。その前に治療に入るのが大切です。

チーム医療で効果上げる

佐藤 糖尿病の最新治療の動向を教えてください。

玉澤 近年はさまざまな良い糖尿病治療薬が出てきましたが、糖尿病治療にといった薬物療法は食事・運動療法があつてこそものです。青森労災病院では専門医および療養指導士によるチーム医療に取り組みしており、効率的な教育入院

医療座談会

青森労災病院 副院長
玉澤 直樹 氏



が多いのですが、実際に教育入院すると「良かった」という感想を持つ方がほとんどです。今後早期治療や、より効率のよい治療を目指して教育入院をおすすめしなければと感じました。

病診連携が必要不可欠

佐藤 糖尿病の病診連携はどのような

にされているのでしょうか。

玉澤 私はこれまで、青森県の病診連携ガイドライン作成に携わり、青森市と弘前市で実際の連携活動を展開してきました。八戸市では今年4月から糖尿病の病診連携のモデル事業が始まりましたが、7月までの実績は、かかりつけ医から当院への紹介患者数が73人、当院からかかりつけ医への逆紹介患者数が98人で、市内の専門医のいる医療施設の中で最多です。患者さんは紹介されて当院に来ると、「かかりつけ医に戻れないのでは」と不安になりがちなのですが、最初から「ある程度の治療をすればまたかかりつけ医に戻れます」と説明しています。実際、青森労災病院の昨年度の紹介率は88.5%、逆紹介率は106.6%と元々高い比率でもあります。

佐藤 紹介率、逆紹介率とも素晴らしい数字ですね。最初から患者さんにある意味の保証を与えているので、病診連携が円滑に進む上、患者さんも社会復帰後をイメージして治療効果が上がっているのですね。

玉澤 地域の方々に糖尿病の知識を広める活動も重要です。市民公開講座として糖尿病教室を開いているほか、治療就労面立支援部の看護師が生活習慣病に関する外部講義を続けています。

佐藤 八戸西病院ではハビリリのために入院される方が多いのですが、糖尿病を患っている方が少なくありません。そ



青森労災病院
糖尿病内分泌病棟看護部長
澤橋 芳子 氏

のような患者さんにはリハビリしつつも糖尿病をレクチャーするほか、看護・栄養・薬剤指導などを行い、退院後にかかりつけ医へ円滑にバトンタッチできるように努力しています。そうすることで我々も地域の病診連携の一端を担えればと思います。

母良田 青森労災病院さんの活動を参考にさせていただき、私どもも地域医療に貢献した看護活動の充実を図りたいと思います。

可視化し説明責任果たす

佐藤 今後の生活習慣病対策の目標を教えてください。

玉澤 生活習慣病の原因は遺伝子要因と環境要因がありますが、環境要因も含めて患者さんに関連する原因を目でみてわかるように説明したいと考えています。もう一つは治療効果の説明責任です。生活習慣病の治療は複数の科にまたがる

ことが多いため、これまでは総合的な評価が困難でしたが、総合的なリスクを評価し、治療結果をしっかり患者さんに説明で

きるようにしたいです。この2つを、当院の生活習慣病対策の柱にしたいと考えています。今後5年間で治療介入による絶対リスクを評価し、結果を広く公表する計画です。生活習慣病の予防・治療の効果をしっかりと示すことで、一番大切な市民の意識を高められるからです。

「本日は大変有意義なお話、どうもありがとうございました。」

佐藤 患者さんに教育入院をすすめても、「仕事が忙しい」と消極的なケース

澤橋 薬剤・検査・管理栄養・リハビリ、看護の各分野に合計15名の糖尿病療養指導士があり、チーム医療体制を取っています。教育入院では、集団指導を行った後に個別指導に入ることにより効果が上がることを実感しています。教育入院で患者さんが自分の生活を見直し、現状よりもコントロールして糖尿病とうまく付き合えるように努めています。

母良田 八戸西病院では月1回糖尿病病教室を開催しています。糖尿病患者さんだけではなく、一般の方へ向けた内容で医師・薬剤師・検査技師・管理栄養士・理学療法士、看護師と多職種が講師となり指導を行っています。糖尿病との付き合い方や合併症の予防につながる知識を幅広く学べる場になっていますが、体験談を語り合うことで患者さんの意識が高まるのを感じます。



独立行政法人 労働者健康福祉機構 青森労災病院 概要

所在地：八戸市白銀町南ヶ丘1

▷病床数：一般304床
▷診療科目：21科
▷指定・認定：救急告示病院
医師臨床研修指定病院
八戸圏域地域リハビリテーション
広域支援センター他





八戸液化ガス株式会社
代表取締役

大黒 裕明

「その時代の一歩先に行くように」
私は、先代から会社を引き継ぎ、時代を一步先行くように、日々の仕事に取り組んでおります。

その一つとして、平成13年に青森県の燃料関係の企業の中で最初に、環境マネジメントシステムISO14001を認証取得しました。

会社というのはこういうものだと思わずに、常に時代に合わせ、時代に遅れないように、事業を進めております。

当社は、昭和35年に創業し、現在従業員数106名、液化ガス及び石油類の安定供給を通じ、地元と近隣地域に快適な生活を提案することを使命とし、55年にわたり事業活動を展開しています。大阪府出身、昭和60年から八戸市に在住し、平成7年に代表取締役就任、今年で20年になります。

出来るだけ歩く

私は、車の免許は持っていますが、日頃

運転はしていません。電車やバスを使うこともあります。八戸の街はバス等の交通機関が不便だとよく言われますが、私の中では使い方を分かっている。そのようなことはないと思っています。また、5年ほど前までは山歩きもしていましたので、同年代の人の中では健脚な方だと思っています。

健診の結果は、必ず主治医に報告。検査データの数値が高いか低いかだけでは、急激な変動がないか気をつけています。会社などでお酒を飲む際には、休肝日を作ったり、野菜類を先に食べてから飲むように心がけています。青森県は、塩分の摂りすぎだと聞いていますので、私も刺身にはあまりしもうゆをつけないようにし、塩分にも気をつけています。

はちえき 八戸液化ガス株式会社

略歴

昭和35年創業

従業員106人

液化石油ガスの販売、簡易ガスの供給、住宅設備の販売、リフォーム業務、官工業、土地建築業、土地建物の売買および仲介、再生エネルギーに関する事業、カルチャー教室など



現在の大黒 裕明社長は5代目
(平成7年 44歳で代表取締役就任)
昭和25年8月6日生まれ 現在65歳

仕事で見つけた楽しみ

平成17年から「はちえきキャンパス」というカルチャーセンターを始めてから、仕事と余暇の違いが分からなくなってきました。開始当初から茶道を始め、10年たった今、ようやく緊張せずにお手前ができるようになりました。

純粹に仕事を離れた趣味というのは、思いつかないのですが、何となく風景を見るのが好きです。海外では、ホテルの周辺を散策することが楽しくて、時間を見つけてはよく歩いたものです。一度迷子になりホテルに戻れなくなったこともありました。

八戸に来て30年

魚が大好きな私は八戸に来て、鯖や秋刀魚のお刺身が食べられることに驚きました。地元の人からすれば普通のことかもしれませんが、八戸には素晴らしいところがたくさんあると思います。地元の人もつと自分の街に魅力を感じてほしいですね。

会社も地域も元気に

社員の健康管理として再検査が必要な



茶道を始めて今年で10年になります。

場合、健診結果を渡す際には、受診を勧めています。仕事では、50歳位まで、情報入手や見聞を広めるため自ら動いていましたが、社内の改革のために、社員が新しい時代の考えを取り入れ、その責任や刺激を仕事に活かせるよう、私の代わりに出張等に行ってもらっています。若い社員にチャンスを与えることに繋がり、現場のグルフリーダーを30~40代から選び、経験豊富な方たちがそれを支えることで、活気ある現場となってきました。私の考え方が社内定着してきているのを感じます。今では、社員が責任感や刺激を感じて仕事に取り組んでおり、私自身も心身ともに楽になっていいことだと思っています。

当社はローカルカンパニーですので、地域あつてこそ会社です。社員には地域の活動やお祭りなどに参加するよう呼びかけています。



「社長に学ぶ」
健診にいらつしやる大黒社長はいつもにこにこの笑顔。私たちはその笑顔に緊張感も和らぎ、対応させていただいております。

今回、大黒社長にインタビューをさせていただいた時の強烈な印象は、目の輝きでした。

普段からいつも活き活きとされておりますが、お話を聞かせていただいたことで、その理由がわかったような気がしました。

それは、時代を先取りした会社の方針と組織づくり、何事にもチャレンジ精神が旺盛であること、これが大黒社長の眼差しに表れていると感じました。

八戸西健診プラザ
看護師 柳谷 ちひろ

21世紀の地域医療に貢献する看護婦(士)の育成をめざし

八戸看護専門学校本日開校



宇宙にひろげば、われらが願い



校長 若生 宏



理事 田中 信幸

このたび、新しく看護専門学校を開校するにあたり、前向きなご支援を賜った皆様、八戸市民の皆様のご理解、ご支援を賜りたくお願い申し上げます。日本は戦後の復興から復興し、経済的にも又、医療面からも大きな進歩を遂げています。乳幼児死亡率の低下と長寿国として世界的な偉業をなしとげると至っています。ことに高齢化社会を迎えて看護業務もまた特殊な介護技術の向上が求められています。本看護学校は、新しい看護学校の特長を生かしたいと考えています。地域における大きな役割と責任を認識し、教育と研究の両面から、新しい看護技術の向上、発展に寄与したいと考えています。皆様のご声、ご支援を切に期待する次第であります。

デーリー東北新聞社 平成2年4月7日掲載

SR会について

平成三年六月に会員数七十三社で発足し、現在は八十社にご支援を頂いております。法人の設立趣意や当時の田中理事の志に賛同した企業により発足した、当法人の活動を支援する会です。

新病院開院時も外来待合室のテレビなど寄贈して頂きました。

また、年二回、地域の皆様を対象とした講演会を開催して頂いており、地域に根ざした取り組みも行っております。

昭和六十二年入職

シムバクリニク 看護師長 濱道とみ子さん

平成八年に開設した訪問看護ステーションケアボートの管理者としておりました。開設前は、三八地区、土土地区の行政及び大病院を全て訪問し、看護師在宅訪問への理解を深めていた。ただ、保健師の方にお願ひして回りました。その頃は介護保険制度施行前であり、訪問入浴、訪問介護、ケアプランナーも全てごなし大変でした。「助けて」との電話を受け、一人暮らしの患者さんの元に駆け付けた時、「親戚様、神様だ」と感謝のお声を頂き、それまでの苦労が報われた気がしました。

年表 (平成2年～平成9年)			
平成2年	1990年	1月	「シルバー温泉病院」から「シルバー病院」へ名称変更
		4月	県内初民間3年制看護師養成校 八戸看護専門学校設立*
平成3年	1991年	6月	SR会発足*
		12月	八戸看護専門学校 第1期生からヨーロッパ研修開始*
平成5年	1993年		シルバー病院 健診部(現 八戸西健診プラザの前身) 発足
		6月	はくじゅ入所定員 108名から130名へ増床
平成8年	1996年	1月	訪問看護ステーションケアポート開設*
			はくじゅ在宅介護支援センター開設
平成9年	1997年	10月	訪問看護ステーションしもだ開設

*は本文中に記事掲載

経営理念 **今日もまた**

ここに歴史あり 30周年記念

メディカルコート八戸西病院は、昭和59年(1984年)に開設し30年が経過しました。これまでの歴史を当時の写真や新聞記事とともに3回シリーズで振り返ります。

八戸看護専門学校 校歌

作詞 小寺隆昭
作曲 内田勝彦

母なる潮 めぐみの愛よ
あこがれの道に 咲く風となれ
この世を包み いのちを包む
自学のねがい ひとすじに
明日への手紙 宇宙に書こうよ

星降る海に 育てた夢よ
ふみしめる道に 咲く風となれ
この世を包み 未来を包む
自立のねがい さやかに
明日への手紙 宇宙に書こうよ

かがやける
春のまなざし
ここに集いて
まことの鐘をうちならし
祈りの地平へ吹いて行け



八戸看護専門学校と
東北メディカル学院の校章

昭和五十九年

昭和五十九年に五十床からスタートしたシルバー温泉病院は、昭和六十年に二百一床に増床し、平成二年にシルバー病院へ名称変更しました。当時のコロボレトマークは、八戸看護専門学校と東北メディカル学院の校章として現在も使用されています(右)。このマークは、「より自分らしく、人間らしい生き方を」とのふれあいの中から発見して、「こう」という積極的な動きと、明快でさわやかな清潔感をシンボル化しており、知性を意味するブルーを基調としています。

八戸看護専門学校の校歌の作詞は、八戸北高校演劇部を三度全国一位に導いた小寺隆昭先生(故人)。作曲は、明治ミルクチョコレートのCMでおなじみの曲「チョコレートは明治」の原曲を手掛けた内田勝彦先生の作品です(左)。入学式や卒業式など各種式典の際に、内田先生の奥様がピアノ伴奏をして下さっています。



第一期生

平成五年入職
看護師長 福山美和子さん

二年時の戴帽式でナースキャップを頂くまではターバンを付け、看護師のたまごとして実習を頑張りました。ヨーロッパ研修は初めての海外でしたが、食事が合わず中華料理を食べて食生活が改善されました。クリスマスは、みんなでシャンゼリゼ通りが美しく輝いていたのが印象深いです。



平成3年12月 八戸看護専門学校 第一期生ヨーロッパ研修



注射
所 9

看護部透析室
主任 看護師
こやま 小山 彩子



凄腕職員

病院の仕事内容は千差万別、それぞれ必要なスキルも異なります。各現場で磨かれた凄腕職員を上司が自信を持って推薦します！次の匠を目指し、職員全員頑張っています。

小山主任は、看護師歴19年のベテランナースで、現在は透析室主任を務めています。透析の現場の中には「注射は痛いから苦手」という方が多いのではないのでしょうか。血液透析療法を受ける患者様は、毎回太い注射針を刺して透析治療を行うため、身を持って誰か「注射の匠」かを理解しています。そんな患者様の多くが太鼓判を押す匠こそ、小山主任です。

患者様からのコメント

優しくて話もわかりと聞いてくれます。いつも他愛のないやりとりをしているうちに注射が終わっています。それから全然痛みを感じないんです。始めは、注射回数が多い血液透析なんて受けたくないと思っていました。しかし、思っていたより全然痛くなくて、最近では通うのも苦じゃなくなりました。注射上手の彼女のおかげもあって、血液透析療法が生活の一部として考えられるようになりました。



健診プラザ
放射線技師
たなか 田中 史佳



患者様からのコメント

入社してコソコソ勉強し、更なる向上を目指して「検診マンモグラフィ撮影認定技師」「放射線技師」と、師が「CT検査認定技師」の資格を取得しました。もうすぐ3人目のママさんです。



リハビリテーション部
作業療法科 主任 作業療法士
おさかい やすえ 葛西 恭恵



患者様からのコメント

13年以上の作業療法士の経験を持ち、さらに回復期リハビリテーション病棟セラピストマネージャーを取得している葛西さん。彼女は現在所属している回復期病棟以外でも訪問リハビリや老人保健施設での実務経験があり、多種多様な側面から患者様へ日常生活活動の指導が行えます。



ホスピタリティ

8月8日夏まつり開催

平成27年8月8日に第5回メディカルコート夏まつりが開催されました。「地域に広めよう健康意識」をテーマに、病院での活動を広く知ってもらえるようなイベントを行いました。

からだチェックと健康相談

身体計測、骨密度測定、A・B・I測定、食事診断のブースを設け看護師、保健師、栄養士が健康相談、栄養相談を行いました。この他、介護相談、介護食展示も行いました。



探して学んで 楽しもう医療安全

医療安全川柳を職員から募集し掲示しました。川柳クイズラリーやガラパゴスイベントの豪華景品もあり、みんなで守る医療安全を楽しく学べ、にぎやかなブースでした。



手洗いチェック

インフルエンザやノロウイルスなどの感染防止に大切な手洗い。洗い残しが分かる機械でチェックすると驚きの声をあげていました。



楽しく遊んで リハビリ体験！

患者様に実際に使っている検査や訓練の中から、手のリハビリの一端として行っている運動工、自動歩行器、技能の検査であるドラインピングシミュレーター、バランス機能を検査するための2分間の片足立ちなど、多くの方に体験してもらいました。



必ずかしいなあ

薄加工たのしい♪

こども探検隊

16の親子が看護師や検査技師、放射線技師などのお仕事体験をしました。緊張しながらも、初めての体験にワクワクしたようです。



スタミナ源タレは、かくし味としてお好みで使えます。豆腐は高野豆腐でも良いです。寒太根がある時は加えると、より一層美味しく頂けます。



介護老人保健施設
ハートランド
管理栄養士 山田藤子
十和田市

食材		調味料	
馬肉	200g	みそ	50g
ごぼう	100g	醤油	小さじ1
人参	80g	酒	大さじ1
キャベツ	600g	みりん	大さじ1
生椎茸	30g	砂糖	小さじ1
しめじ	50g	にんにく	10g
長ねぎ	50g	生姜	10g
糸こんにやく	300g	スタミナ源タレ	適量
本絹豆腐	300g	だし汁(昆布)	600ml



馬肉汁
調理時間 30分
目安 4人分

ふるさとキッチン

作り方

1 だし汁にごぼう(ささがき)と人参(ちよう切り)を入れ火にかける。沸騰したら、馬肉を加えて中火で煮込む。

2 その間に他の食材を切る。(キャベツ：乱切り、生椎茸：太めの千切り、しめじ：ほぐし、長ねぎ：斜め細切り、本絹豆腐：2cmの角切り)

3 長ねぎ以外の食材を全て加え、さらに煮込む。

4 全ての食材に火が通ったら、調味料で味を調え、長ねぎを加えて完成。

健康ひとこと

馬肉は牛肉や豚肉に比べると、エネルギーは半分程度と低いのですが、タンパク質は同程度の量を含んでいる高タンパクで低エネルギーな食品です。また、ビタミン類やミネラル類ではナイアシンやビタミンB₁₂、鉄分が特に豊富に含まれています。

ナイアシンには皮膚や粘膜の維持を助ける働きがあり、ビタミンB₁₂や鉄分は血液を作る時に必要となります。

メディアカルコト八戸西病院
管理栄養士 岩間 優子

1人分

エネルギー: 227kcal / 蛋白質: 20.5g / 脂質: 5.6g / 塩分: 2.1g

Hello Baby! お誕生おめでとうございます。

元気に優しく育ってね。



しんや
隼也くん
リハ部 湯川さんの二男

すくすく大きく育ってね。



だいが
大悟くん
看護部 杉山さんの長男

元気に育ってね!



はやせ
隼瀬くん
リハ部 東野さんの二男

生まれてきてくれて
ありがとう。



きさら
輝空くん
看護部 奥谷さんの二男

すくすく元気に
大きくなってね!



りょうた
亮太くん
看護部 後村さんの二男

明るく元気に育ってね!



やまと
大和くん
ケアポート 工藤さんの長男

元気に大きく育ってね。



こうき
恒希くん
看護部 泉さんの長男

7月7日～9日までの3日間、職場体験として「さわやか八戸グッジョブ・ウィーク」が開催されました。今回は、八戸市立白山台中学校から来た3名です。



2年1組
佐藤真由さん



2年1組
佐藤瑞乃さん



2年4組
小笠原俊介くん

キャンパス

当院では、実習生や職場体験の受入に積極的に取り組んでいます。



放射線科



検査科



栄養科



薬剤科

午後からは、いよいよ体験活動です。



July 7

初日の午前中は、日程の説明、注意事項などのオリエンテーションの他『病院での仕事』ということで、看護部・リハビリテーション部・診療部から仕事内容の紹介がありました。

ベッドメイキングも
看護師の大切な
お仕事です。



緊張するなあ。。。

July 8

二日目は、看護体験でした。



最後にみんなで写真撮影



言語療法



作業療法



理学療法

July 9

三日目は、リハビリテーション体験でした。